

# 家畜衛生だより

## 台風6号が関東地方に接近します！ 同封の「チラシ」を参考に早めの備えを

### 台風通過後は畜舎等の破損状況の確認をお願いします！

#### 1 畜舎と家畜に甚大な被害を受けた場合は市町村や農業事務所へご報告ください！

また、支援事業の発動時は以下のものが必要になるため  
保存・保管をお願いします。

☑チェックリスト

- 被害状況の写真
- 復旧に要した費用に関する書類(発注書や納品書等)

#### 2 畜舎の破損の確認・速やかな修繕をお願いします。

柵やネットを含め、畜舎の破損有無を確認し、破損があつた際は速やかに修繕をお願いします。

☑チェックリスト

- 畜舎等総点検の実施
- （破損があつた場合）速やかな修繕

#### 3 台風による風雨等侵入は伝染病リスクが高まるタイミング

です！台風通過後は洗淨消毒の実施をお願いします。また家畜の健康状態を注意深く観察し、異状を感じた場合は家畜保健衛生所へ速やかにご連絡ください！

☑チェックリスト

- 台風通過後は洗淨消毒
- 家畜の健康状態の確認

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。



## 台風・大雨被害に備えましょう

近年、台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響の出る被害が発生しています。今後も台風等による災害発生リスクがあることから、減災のための取組に努めましょう。

### 【事前の対策】



1. 各都道府県や市町村が公表している防災ハザードマップを確認し、どのような災害に遭う可能性があるかを予め把握しておきましょう。
2. 管理者や家畜の避難先や避難経路を予め検討しておきましょう。また、被災時の緊急連絡先（役場、農協、家保など）を確認しておきましょう。
3. 浸水や停電に備え、発電機や排水ポンプ等の準備に努めましょう。
4. 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つように努めましょう。また、飲水についても貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどの準備に努めましょう。

### 【被害拡大防止のための対策】



1. 市町村などから避難勧告が出された場合には、人命を守るための行動を最優先しましょう。
2. 避難までに時間的余裕がある場合には、しばらく飼養管理ができない可能性を考えた対応・対策を講じましょう。
3. 機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、安全に気をつけて作業をしましょう。
4. 道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更しましょう。また、避難先候補地への家畜の移動も検討しましょう。



# 地震に備えましょう！

千葉県では、切迫性の高い南海トラフ地震で最大震度5強、首都直下地震で最大震度6強の揺れが想定されるなど、地震による災害リスクが高まっています。地震発生時の被害を軽減するため、以下の対策を講じてください。

## 【事前の対策】

1. 被災時の緊急連絡先（役場、農協、家保、農事など）や連絡手段を確認し、見えるところに貼っておきましょう。
2. 停電に備え、発電機等の準備・定期点検に努めましょう。
3. 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼育するために必要な量を在庫として持つように努めましょう。また、飲水についても貯蓄タンクの設置やくみ上げポンプなどの準備に努めましょう。
4. 送風ファンや照明灯等が落下しないよう確認しておきましょう。
5. 消火設備（消火器、火災報知器等）を設置し、正常に作動するよう点検しておきましょう。
6. 懐中電灯など非常用の照明器具を、暗闇の中でも見つけやすい場所に保管しておきましょう。

## 【被害拡大防止のための対策】

1. 人命を守るための行動を最優先しましょう。
2. 機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、安全に気をつけて作業しましょう。
3. 道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更しましょう。

